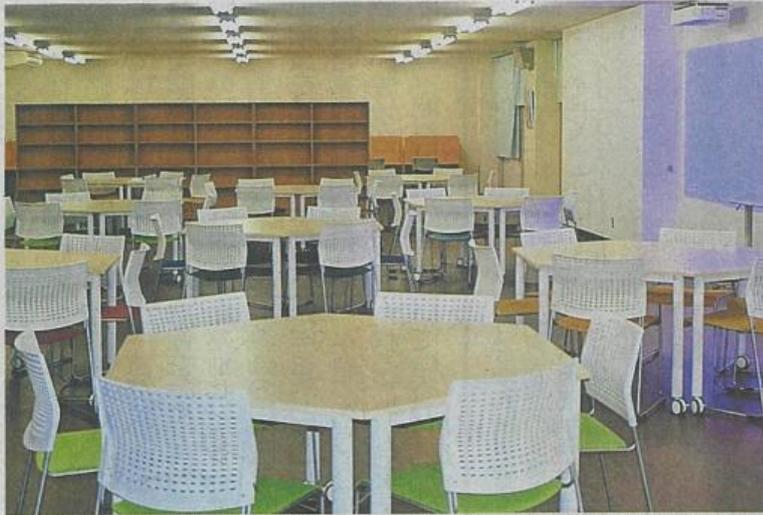


探究深める場に

浜坂高 協働学習スペース完成

奨学金給付や教育助成事業に取り組み神戸市の三木瀧蔵奨学財団（三木京子理事長）からの寄付を受け、浜坂高（新温泉町芦屋）が、

「探究BASE」が2月に完成した図書室を改修した。約230平方メートルの室内には、対話がしやすい机やグループごとに色分けした椅子、プロジェクト、情報収集ができる個人ブース八つを完



総合的な探究学習の拠点として活用される「探究BASE」。学習ブースや遠隔授業の機器も備えている＝2日、新温泉町芦屋の浜坂高

開始する。

古い書籍が多く自習目的の利用にとどまりがちだった図書室を改修した。約2

30平方メートルの室内には、対話がしやすい机やグループごとに色分けした椅子、プロジェクト、情報収集ができる個人ブース八つを完



藤原教育長（前列左から2人目）から感謝状を受け取った三木理事長（同3人目）＝3日、神戸市（県教委提供）

備。遠隔授業で使用するモニターやカメラもある。総事業費は2千万円。

連携型中高一貫教育校への移行を見据えた整備。主体的で協働的な学びを広く展開するために生徒が集い、対話と議論をする場として活用する。

西岡優子校長は「生徒にとって夢のある空間になるよつ、強い思い入れを持って整備した。最新の学びを提供できる」と語り、同校が注力する地域探究と国際交流、キャリア教育への寄与を期待する。

同財団は昨年、県立高の図書室や食堂の改修のために計1億3千万円を県教委に寄付。県教委が定めた6校で改修事業が行われた。

県の藤原俊平教育長は3日、同財団に知事感謝状を贈った。三木理事長は「設備の充実で学習活動に幅がで、経験できることが増える。探究する上で幅広く活用してほしい」と話した。

（安部航太）